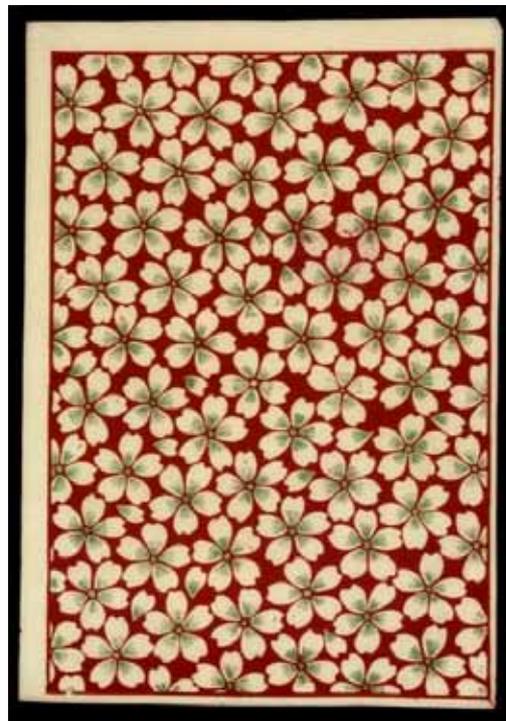


# 「花尽くし」

牡丹文



桜文



菊花文



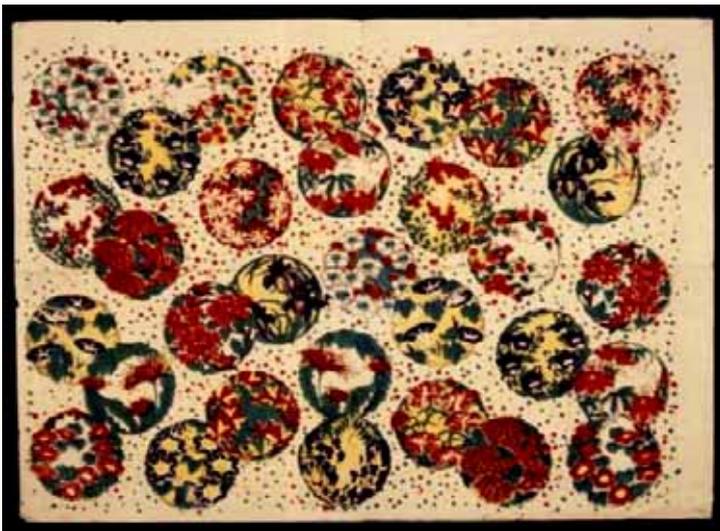
いせ辰（江戸末から続く江戸千代紙の老舗）版河鍋暁斎筆の「菊尽くし」に類似するところが多く、この千代紙の絵師は河鍋暁斎ではないかと考えられています。

いかだ  
花筏文



花筏は、水面に散った花びらが連なって流れているのを筏に見立てていうものです。文様では、筏の上に花を折り添えた形、花を散らして漂う中に筏が流れる様子などで表します。

花の丸文



円形を散らしたり、花や鳥、家紋などを円形におさめた文様を丸文といい、草花の一枝を円形にたわめたものを花の丸文といいます。

